

茨 木 市

市民の安全・安心を守る 高機能消防総合情報システムの導入について

はじめに

茨木市では、平成7年度にアナログ方式の「消防総合情報システム」を導入し、災害発生時により迅速かつ的確に対応できる消防防災体制の確立に努めてきました。

しかし、大規模施設の増加や、建物の高層化に伴い、複雑多様化する各種災害に対応するため、最新技術を駆使したデジタル方式の「高機能消防総合情報システム」を整備しました。

事業概要

事業実施にあたっては、先進都市の視察を行い、システム設計についての研究・検討を重ね、平成18・19年度の2カ年事業として、システムの構築に取り



運用開始式

かかり、今年4月から運用を開始しました。

高機能消防総合情報システムの主な特徴については、以下のとおりです。

- 1 不測の障害が発生しても、二重化された指令制御装置が自動的に切り替わる、安全性の高いシステムです。
- 2 119番通報からの発信者位置表示システムについては、従来の電話に加え、携帯電話、IP電話も対応でき、茨木市独自の統合型GIS（地理情報システム）等と連動させ、迅速に出動指令が行えます。
- 3 全緊急車両にGPS（全地球測位システム）を搭載し、災害現場に最も近い稼働中の消防車及び救急車への指令が可能となり、更なる現場到着時間の短縮を図ることができます。
- 4 震度5弱以上の地震が発生した時に、消防本部と消防団が市全域にわたり予め定めた責任分担区域の火災や家屋倒壊等の被害状況を30分以内に確認し、消防車のGPS付車載端末装置等により、指令室や市災害対策本部の表示板に災害に応じた色別表示ができ、迅速な対応が可能となります。
- 5 出動した消防車両から、災害現場の状況を指令室と市災害対策本部に画像伝送することにより、効果的な出動体制や支援体制の確立を図ります。
- 6 地震等の災害発生時には、予め携帯電話のメールアドレスを登録していただいた市民の方に対して、災害情報の提供を行います。今後さらに、災

害情報の提供の際に、同様に登録されたご家族、知人等の安否確認情報も提供できるようにする予定です。



消防本部通信司令室

これらにより、迅速かつ的確に消防活動を行うことができ、救命率の向上及び被害の軽減を図ることができます。

高機能消防総合情報システムは、市民の生命と財産を守るという消防業務の目的を達成するため導入したものであり、今後も更なる救命率の向上、被害の軽減に努めるとともに、常に市民の目線に立った消防行政を推進していきたいと考えています。

おわりに

本市消防本部では、環境に配慮した消防行政を推進するため、「ISO 14001」の認証取得を目指し、平成18年4月に消防長がキックオフ宣言を行った後、環境方針の策定、環境汚染防止策についての目的や目標の設定、継続的に取り組む環境マネジメントシステムの構築を進め、同年9月から消防本部環境マネジメントシステムの運用を開始しました。

そして今年1月、審査登録機関の審査を受けた結果、規格に適合していることが認められ、「ISO 14001」の認証（登録番号：JQA-EM5683）を取得しました。

なお、消防本部が単独で認証取得するのは関西初（全国では2番目）となります。



ISO 14001 登録証授与式

今後も、エコオフィス活動を含め、この高機能消防総合情報システムで消防車両の現場到着時間の短縮化を図り、焼損面積の削減につなげるほか、地水利調査の際の、ポイ捨てされた空き缶やペットボトルなどの資源ごみの回収、救急業務で使用する挿管器具類を滅菌する装置から放出される有毒なガスを無毒化する装置の整備など、消防の特色を活かした環境配慮活動を積極的に推進し、より安全・安心できる地域社会の実現を目指していきます。